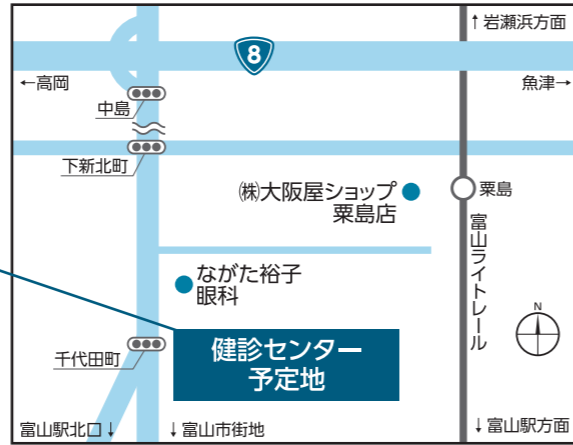


2018年7月、富山市千代田町に「総合健診センター」開設予定

当協会では県内初の男性・女性専用の健診フロアを備えた施設を富山市中心部にオープン!最新鋭の検査機器を完備し、人間ドック・脳ドック等を実施いたします。また、医師や医療専門スタッフが健康づくりのサポートをさせていただきます。



第3回富山県健康寿命日本一推進会議に参加しました

石井知事が会長を務める富山県健康寿命日本一推進会議の第3回会合が、11月17日(金)、パレプラン高志会館にて行われました。

会議では富山県健康増進計画の中間評価報告や県の健康づくり施策の取り組み状況、企業における健康づくりの取り組み事例として、西陵株式会社における職場の健康づくりが紹介されたほか、当協会からは、IoTを活用した運動習慣定着支援モデル事業の「100日健康運動会」実施における中間報告を発表させていただきました。

「100日健康運動会」は、9月1日～12月9日の間、ウェアラブル歩数計とスマホによる活動量モニタリングを行い、事業場ごとのチームが運動実践(ウォーキング)を行うもので、県内の中小企業・団体25事業場で計235名が参加しています。当協会をサポートを行い、終了後、取り組みの評価・効果測定をさせていただきます。今年度末には評価分析データをまとめる予定となっております。今後も中小事業場の「健康経営」を推し進めてまいります。

◎とやま健康ラボ…「100日健康運動会」

<http://kenko-toyama.jp/information/information-e000523.html>



10月まで金沢市内の病院で産婦人科の診療をしていました。北陸予防医学協会のある富山は、20数年前に私が医師として実質上のスタートを切った地です。立山連峰の雄大な景観を間近に見ると、その頃の自分に戻ったような気分になります。

これからは巡回バス健診とセンター健診(富山・高岡)で精度の高い子宮がん検診を行い、婦人科疾患の早期発見と予防に努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



新医師紹介



平林 はやと

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年中は当協会の事業にご理解・ご支援を賜りまして誠に有難うございました。

さて、政府は「健康寿命の延伸策 医療費の適正化」を国家プロジェクトの一つとして掲げ、健康・医療産業をイノベーションによる成長産業として位置づけています。

この健康政策は、省庁の垣根を越えて医療保険者が持つビッグデータを活用した「データヘルス計画」と経済産業省が推進する「健康経営」とのコラボレーションによる取り組みが特徴であります。

この健康政策が誕生した背景には健康診断・人間ドックを受診しても結果を認識せず、健康づくりに無関心な人が多いこと、また、特定健診で「要治療」「要精密検査」と判定された従業員に対し、事業所が充分フォローできていないこと等から疾病が重症化し医療費高騰の結果を招いていることがあります。いわゆる健康に無関心な層の背中をどう押せるかが大きな課題であります。

この解決策として進められている健康経営は、事業主自らが「健康企業宣言」をし、医療保険者が保有する各企業の健診データと業態別解析データを基に、生活習慣病の予防や健康づくりについて職場単位で取り組むべき健康課題を分析し、働く人達が元氣な職場となる事業を推進します。また、この取り組みを「健康経営優良法人」として申請し、認定、公表されることにより、対外的に企業イメージの向上を図ることができます。従業員にとっても人生の就労期間に如何に健康で働



一般財団法人 北陸予防医学協会
理事長 永田 義邦

くかが重要であり、若い世代から健康管理をすることは、その後の「健康寿命の延伸」にも大きく影響し人生のQOLを高め自分らしく生きられることとなります。当協会はこの「健康経営優良法人・ホワイト500」の認定を受けました。認定取得に培ったノウハウを基に健康づくりのサービスを提供させていただきます。

これからの予防と健康づくりを持続的に向上していくためには、医療データを活用した健康づくり目標を立て企業や地域社会が実効性を高める取り組みを行い、改善効果についてエビデンスの確認を健診結果から評価することが重要になります。そして、健診機関はこのような健康づくりの流れをトータルにサポートすることが求められます。

これまでも当協会は健康診断事業の事業充実を図ってまいりましたが、予てから富山市内にその中核となる健診・人間ドック施設を富山市千代田町で計画し、現在建設中であり、健診センターには最新の医療機器を整え、層精度の高いデータの提供に努めます。また、女性・男性専用の健診フロアを整備し、医師や医療専門スタッフが健康づくりをサポートさせていただきます。センターのご利用をお待ちいたしております。

今年も健康づくりのお役に立てるパートナーとして事業を推進する所存であります。皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

第47回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会が、12月2日に富山市で開催され、当協会から三吉崇之 放射線技師が発表しました。以下にその内容を紹介します。

「当協会が実施した胃X線検診からみえてきたこと」

三吉 崇之、愛場 信康、増山 喜一、山上 孝司

目的

対策型胃がん検診の対象年齢が50歳に引き上げられたことを受け、当協会の胃がん検診の現状を把握し、今後の当協会の胃がん検診のあり方について検討したので報告する。

対象と方法

当協会胃X線検診は、職域および地域において実施しており、平成19年度から平成27年度の9年間に実施した延べ304,679名を対象とした。

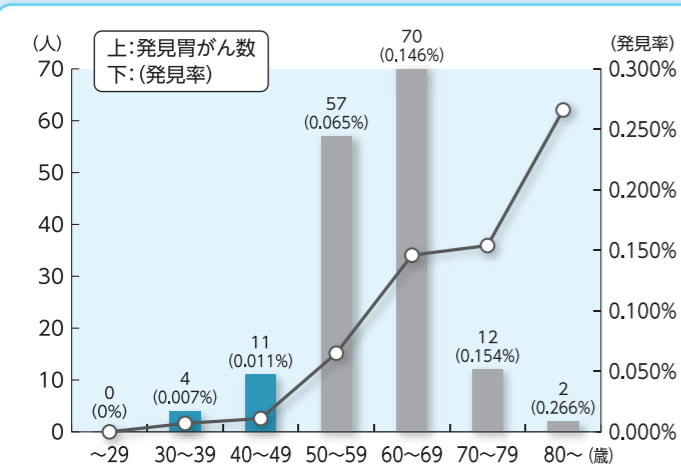
その9年間分の成績と平成26年度消化器がん検診全国集計を比較検討した。

結果

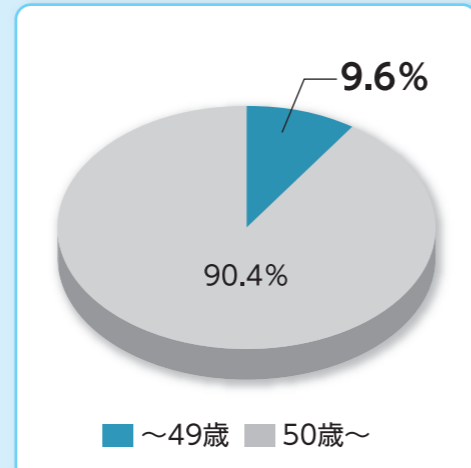
- 50歳未満の発見胃がん数は、156症例中15症例で約1割を占めた。
- 当協会の胃がん検診は職域が約9割を占める。全体としては胃がん発見率は全国平均より下回っていたが、職域で比較すると、全国平均より良好な成績だった。



●年代別 発見胃がん数と発見率



●50歳未満の胃がんの割合



●当協会と全国集計の対象区分別成績(全体・職域・地域)

| | 対象 | 受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | 発見胃がん数 | 発見率 |
|----|------|-----------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | 当協会 | 304,679 | 18,318 | 6.0% | 12,114 | 66.1% | 156 |
| 全体 | 全国集計 | 6,682,592 | 428,083 | 6.4% | 269,622 | 63.0% | 5,041 | 0.075% |
| 職域 | 当協会 | 279,693 | 16,503 | 5.9% | 10,699 | 64.8% | 124 | 0.044% |
| | 全国集計 | 3,623,474 | 197,794 | 5.5% | 89,458 | 45.2% | 1,086 | 0.030% |
| 地域 | 当協会 | 24,986 | 1,815 | 7.3% | 1,415 | 78.0% | 32 | 0.128% |
| | 全国集計 | 2,499,553 | 203,574 | 8.1% | 165,177 | 81.1% | 3,669 | 0.147% |

※全国集計・・・平成26年度消化器がん検診 全国集計資料集

まとめ

50歳未満の発見胃がん数は、全体の約1割と低い数値ではあるが、社会性や生産性などの観点から重要な数字であり、50歳未満においても一度は画像診断を行い、背景粘膜診断を含む適切な情報提供が重要である。

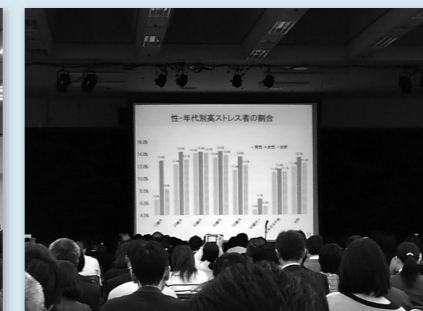
広報紙に関するご意見・ご要望等は、健康推進課 林または保井までご連絡ください。
TEL 076(436)1281 FAX 076(436)1240

第76回全国産業安全衛生大会に参加して

11月8日～10日、神戸で全国産業安全衛生大会が開催されました。メンタルヘルス/健康づくり分科会に参加し、ストレスチェック制度やメンタルヘルス対策等の事例発表を聴講しました。

ストレスチェック制度が始まって2年目となりますが、企業では、様々な事例に苦慮されていることと思います。一方、国による「働き方改革」では、「長時間労働の是正」や「病気と仕事の両立」などの9項目の改革案が示され、法改正を含めてさらなる人事労務上の対応が必要とされています。

今回の発表では、経営層の参画のもと、人事や安全管理者、産業保健スタッフが役割分担して、ストレスチェック後のカウンセリングや組織分析の活用、管理者向け教育研修など、企業風土や人事課題に即した継続的な取り組みが多く行われていました。



今後、長時間労働の改善と同時に産業医や産業保健機能の強化による職場環境の整備が求められます。企業成長のためにも労働環境整備はますます重要な経営課題となりますが、他社の事例を参考とし、自社の課題を設定することが大切です。民間のアウトソーシング会社を利用するケースもありますが、中小事業場では、従業員規模や職場状況に合わせたストレスチェック後の面接や組織分析、管理者向け教育研修などの産業保健サービスの実施をストレスチェック実施機関に相談してみることも有用です。

次回の2018年大会は横浜で開催される予定です。中災防賛助会員の事業場は参加費が割引になります。人事および衛生管理スタッフの皆様の参加をお待ちしています。

中災防ホームページ...<https://www.jisha.or.jp/>

「ストレスチェック」実施促進のための産業保健関係助成金

労働者健康安全機構では、事業者が行う自主的な産業保健活動に対するの支援や小規模事業場の労働者に対する産業保健サービスを行っています。

今年度からは、「ストレスチェック助成金」に加え、「職場環境改善計画助成金」「心の健康づくり計画助成金」「小規模事業場産業医活動助成金」が新設されています。窓口は、富山産業保健総合支援センターになります。当協会でも助成金活用等のご相談を受け付けています。

当協会メンタルサポート課 TEL.076-436-1281

平成28年度から「産業保健関係助成金」のメニューが拡充されました。
※新たな助成金は、平成29年6月1日から申請受付を開始しております。

- NEW ストレスチェックの実施及び関係機関との連携を促進するための助成金
- NEW 労働者数50人未満の事業場 小規模事業場産業医活動助成金
- NEW 労働者数50人以上の事業場 ストレスチェック助成金
- NEW 労働者数50人以上の事業場 職場環境改善計画助成金
- NEW 労働者数50人以上の事業場 心の健康づくり計画助成金

「ストレスチェック助成金」が使いやすくなりました。
● 申請書類の要件が緩和されました。
● 事業中に実施した分の申請受付月30日まで申請可能となりました。
● 中小企業庁の「職場環境改善計画」の推進が「ストレスチェック助成金」の活用による活動が、「職場環境改善計画」の推進と一致する場合は、申請書の提出が不要となります。

富山県労働安全衛生センター 独立行政法人 労働者健康安全機構
産業保健課 産業保健推進課
〒211-0081 神奈川県川崎市中原区本町1丁目1番1号 事務室
TEL 0570-783046 受付時間 平日 9時～12時 13時～16時 (土曜、日曜、祝祭日)
FAX 0570-783046
Eメール info@jshas.go.jp
ホームページ <https://www.jshas.go.jp/>
※申請書類は、ホームページからダウンロードして印刷してください。

「ココロの耳」
ストレスチェックに関する相談や、職場環境改善、メンタルヘルス対策に関するお問い合わせください。
<https://kokoro.mhlw.go.jp/> ココロの耳